

令和4年度 保育士等の勤務実態等に係るアンケート調査 (保育士等向け) 集計結果

- 調査目的：保育士等の確保及び離職防止につながる施策（処遇改善、業務負担軽減など）を検討するために実施。
- 調査時期：令和4年11月7日（月）～令和4年11月18日（金）
- 対象施設：認可保育所（分園含む） 118施設
幼保連携型認定こども園 47施設
幼稚園型認定こども園 13施設
- 回答者数：475人
- 回答方法：鹿児島県電子申請システム

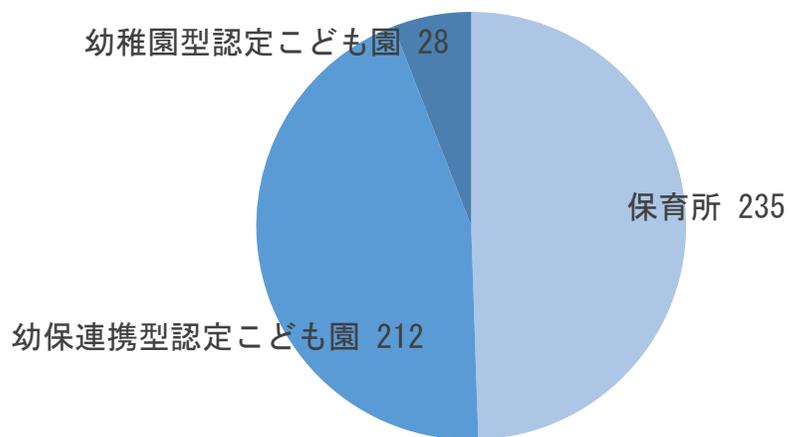
鹿児島市待機児童緊急対策室

【1】あなたが現在働いている施設の所在する区域を選択してください。

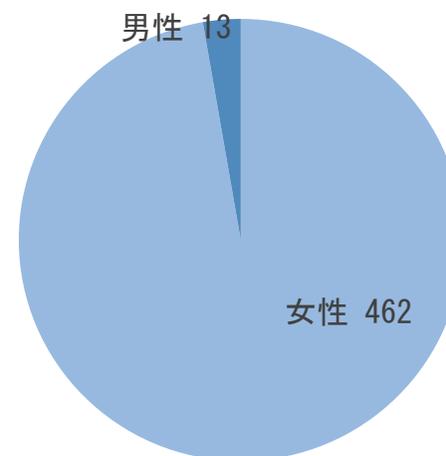
区 域	人数
谷山北部地区	104
武・田上地区	84
谷山地区	67
吉野地域	41
鴨池地区	40
伊敷地域	33
上町地区	24

区 域	人数
松元地域	24
城西地区	23
中央地区	20
喜入地域	12
郡山地域	3
桜島地域	0
吉田地域	0

【2】あなたが現在働いている施設の種別を選択してください。

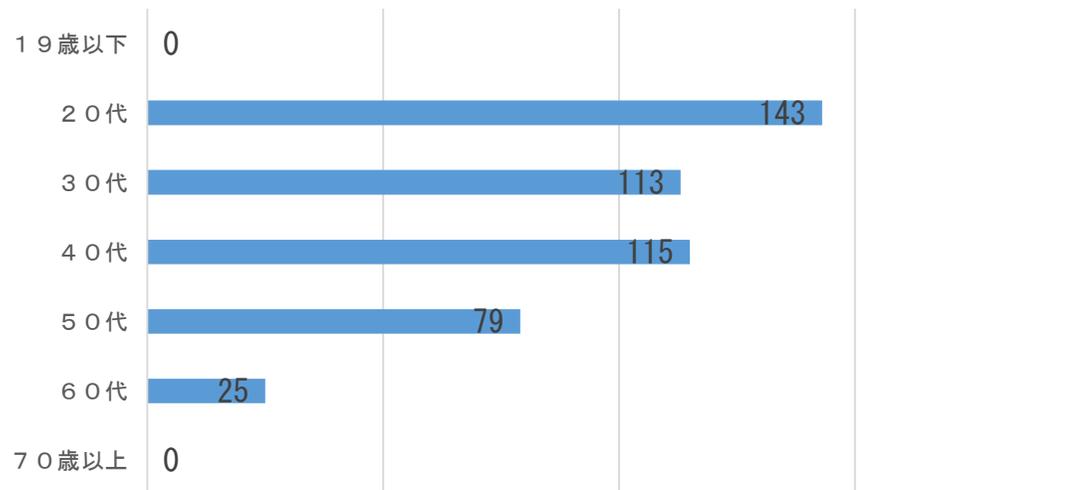


【3】あなたの性別を教えてください。



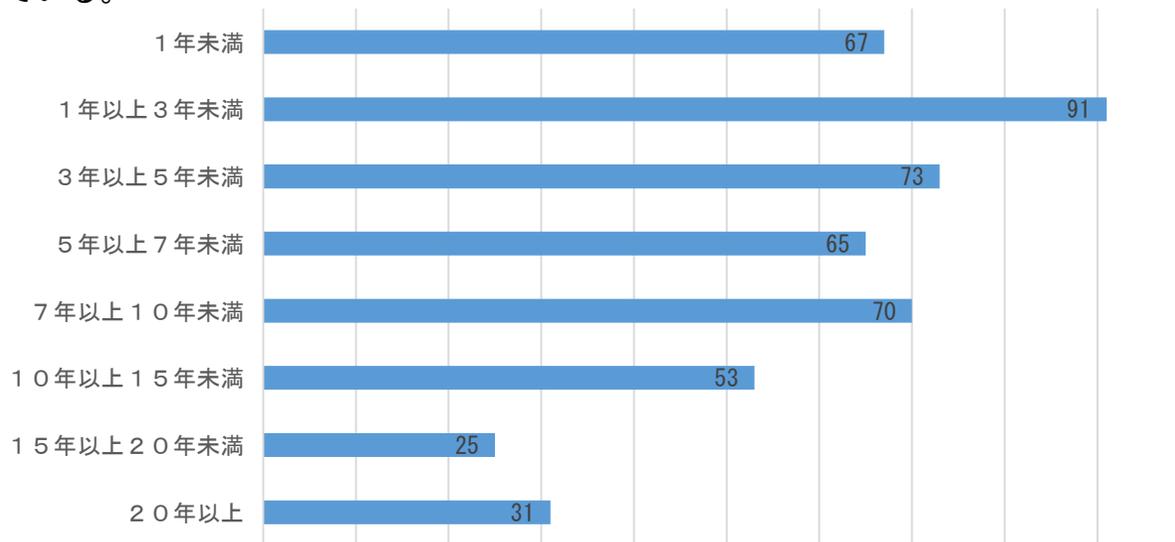
【4】あなたの年齢を教えてください。

20代が最も多く、次いで、30代、40代がほぼ同数で多かった。



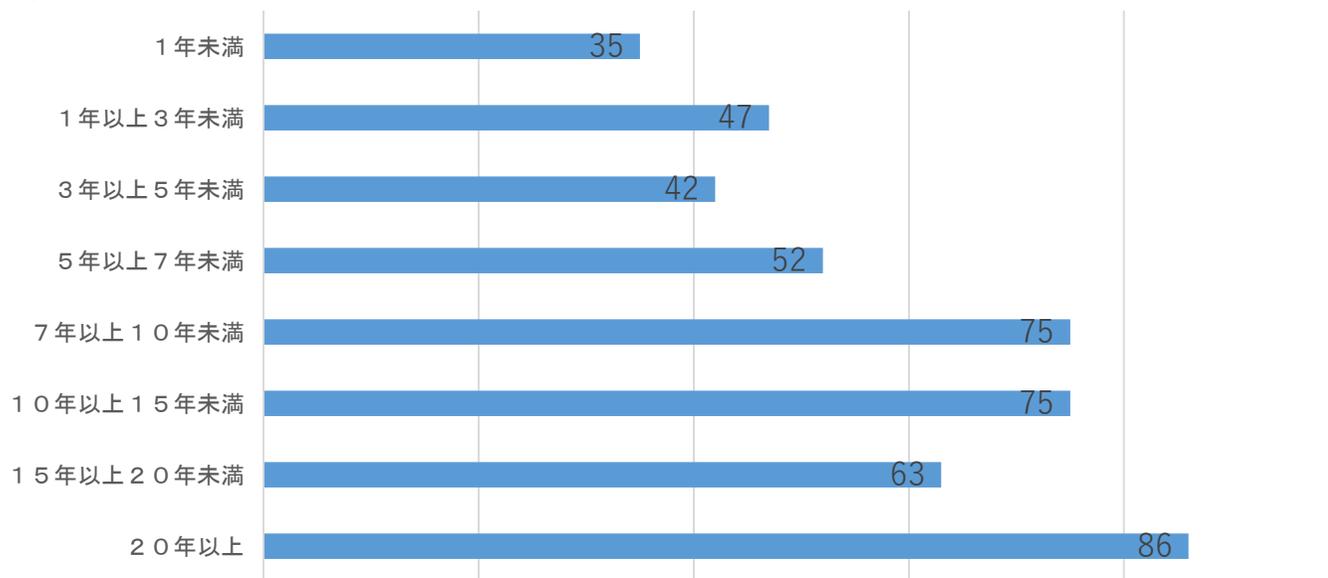
【5】あなたは現在働いている施設で通算何年お仕事をされていますか。（育休等で離職期間がある場合は、その期間も含む）

現在働いている施設での勤続年数は、「1年以上3年未満」が最も多く、次いで「3年以上5年未満」、「7年以上10年未満」となっている。

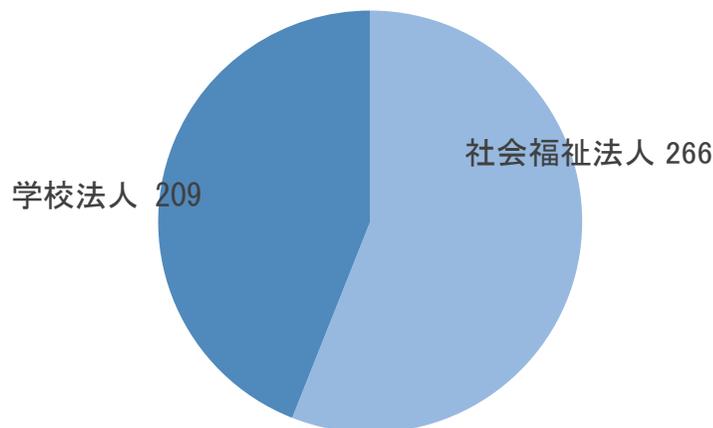


【6】あなたは保育士等として通算何年お仕事をされていますか。（育休等で離職期間がある場合は、その期間も含む）

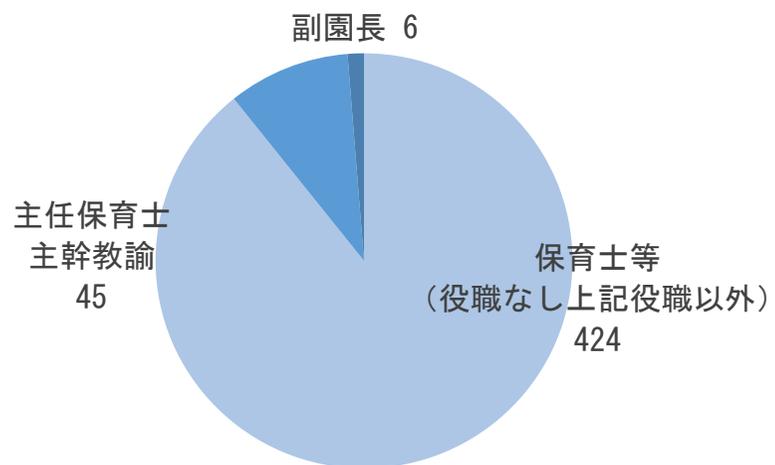
保育士等としての経験年数は、「20年以上」が最も多く、次いで「7年以上10年未満」、「10年以上15年未満」が同数で2番目に多い。



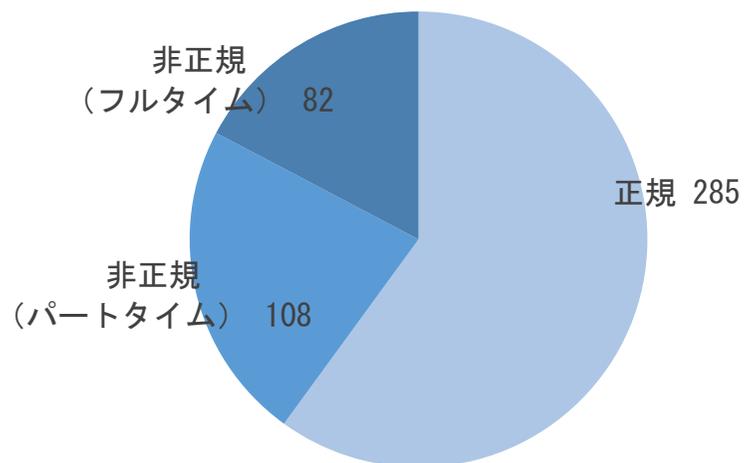
【7】あなたが現在働いている施設の運営主体を選択してください。



【8】 あなたの現在の役職を選択してください。



【9】 あなたの現在の就労形態を選択してください。



【10】あなたの残業時間について、月当たりの平均を記入してください。

月当たりの残業時間の中央値は、「15.33時間」で、最頻値は「0時間」となっている。

値	時間数
中央値	15.33
最頻値	0

※月当たりの平均値の回答を求めていたものの、年間の数値と思われる回答が散見されたことから、「中央値」「最頻値」を算出し掲載

【11】あなたの休日出勤日数について、月当たりの平均を記入してください。

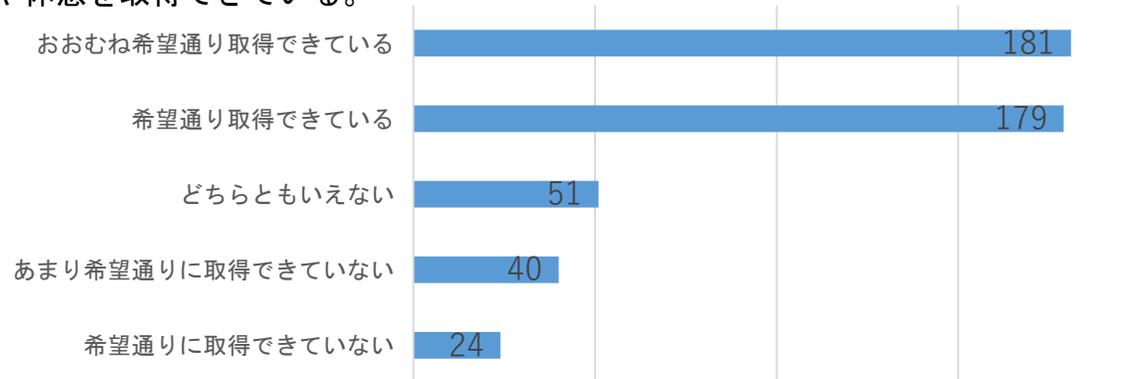
月当たりの休日出勤日数の中央値及び最頻値「0時間」となっている。

値	時間数
中央値	0
最頻値	0

※月当たりの平均値の回答を求めていたものの、年間の数値と思われる回答が散見されたことから、「中央値」「最頻値」を算出し掲載

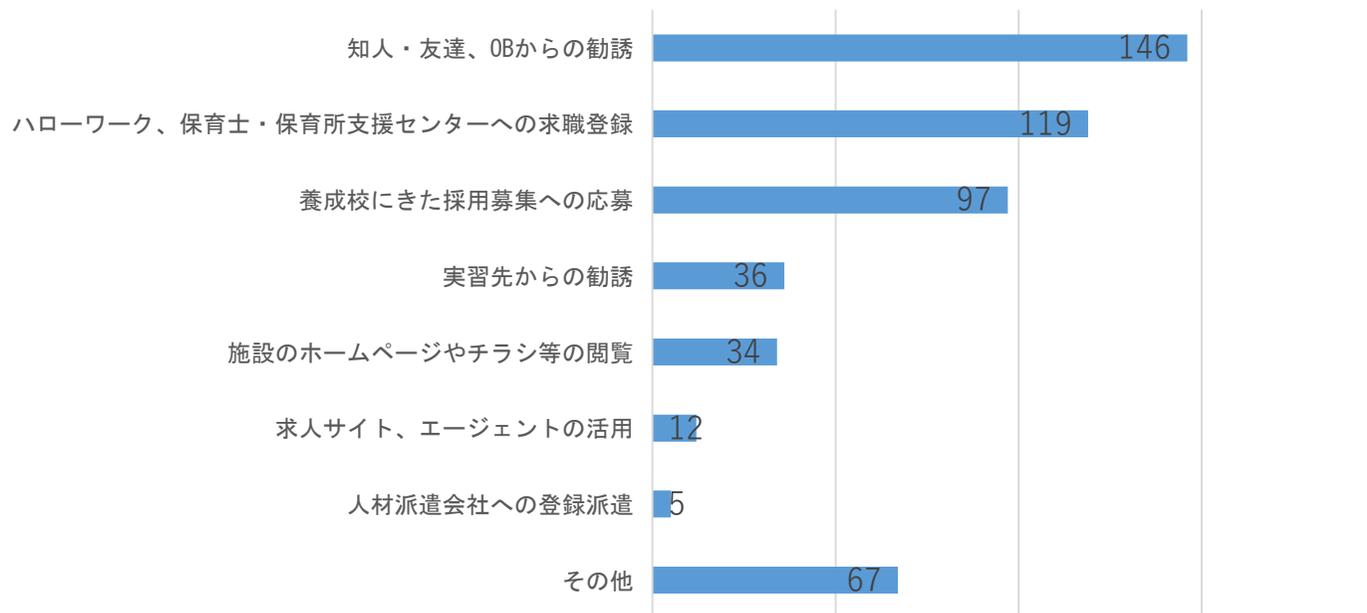
【12】休暇取得・休憩取得に関して希望日（時間）に取得できているか選択してください。

休暇や休憩について、「おおむね希望通り取得できている」、「希望通り取得できている」と回答したのは、360人で、約75%の保育士等が希望通り休暇や休憩を取得できている。



【13】あなたが現在働いている施設に応募・就職したきっかけを選択してください。（8個まで選択可能）

現在働いている施設に応募・就職したきっかけは、「知人・友達、OBからの勧誘」が最も多く、次いで「ハローワーク、保育士・保育所支援センターへの求職登録」、「養成校にきた採用募集への応募」となっている。



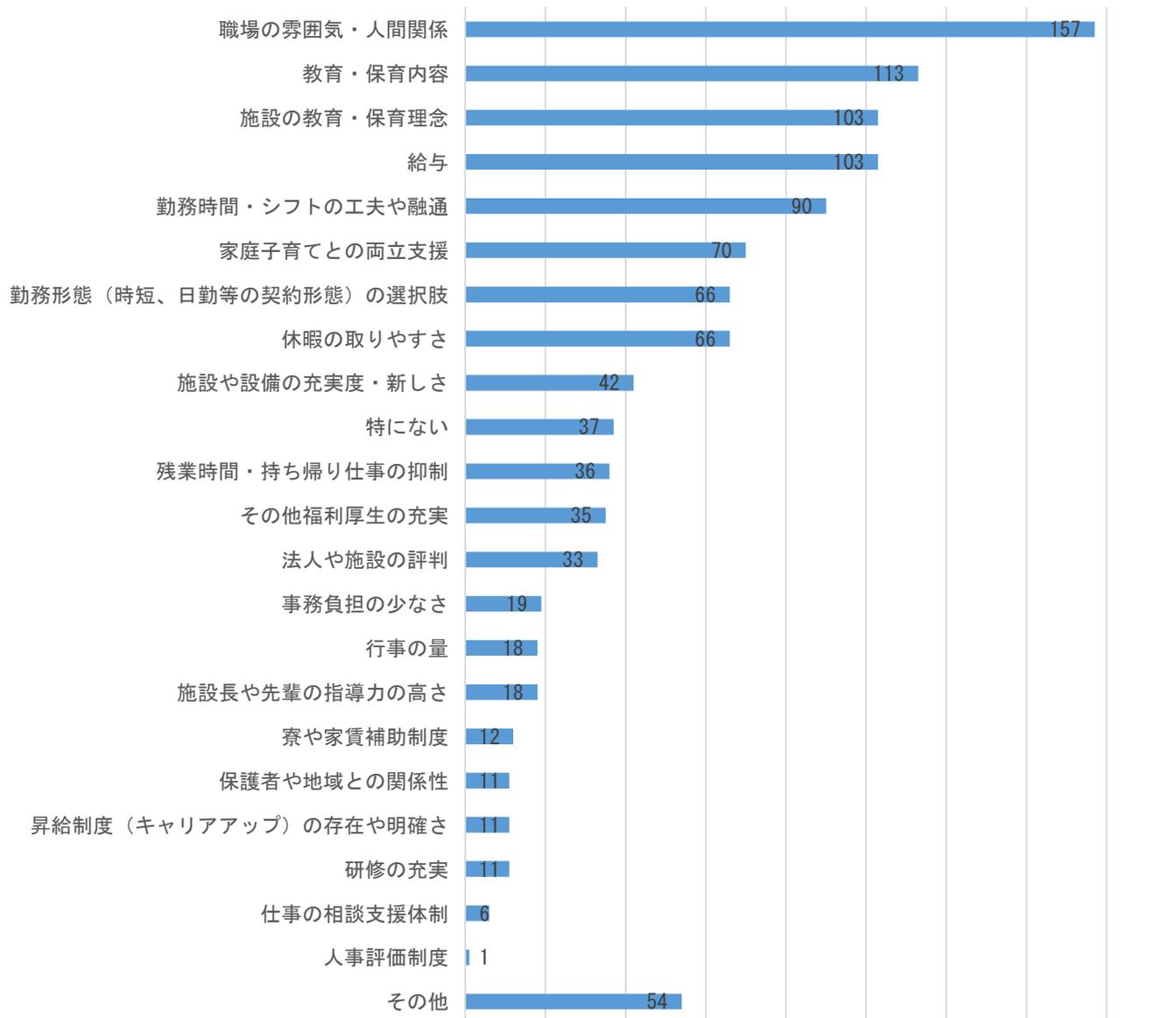
【14】【13】で「その他」を選択した場合、その内容を記入してください。

【主な内容】

- ・ 通勤距離が短い（12件）
- ・ 出身園（10件）
- ・ 施設関係者からの誘い（7件）
- ・ 子どもの出身園（4件）
- ・ 実習先（3件）
- ・ 園見学（2件）
- ・ 友人から募集を聞いた（2件）
- ・ 過去、姉妹の保育園で勤めていたこともあり、自園の教育理念が好きということと子育てしながら働きやすい環境があるため
- ・ 家族が当園関係者
- ・ 園内の雰囲気良かったため
- ・ 専門学校の教師からの薦め
- ・ アルバイト先
- ・ 運営主体の説明会に参加したこと

【15】あなたが現在働いている施設を選択した理由を選択してください。（5個まで選択可能）

現在働いている施設を選択した理由として最も多かった回答は、「職場の雰囲気・人間関係」で、次いで「教育・保育内容」が多く、「施設の教育・保育理念」と「給与」は同数で3番目に多かった。



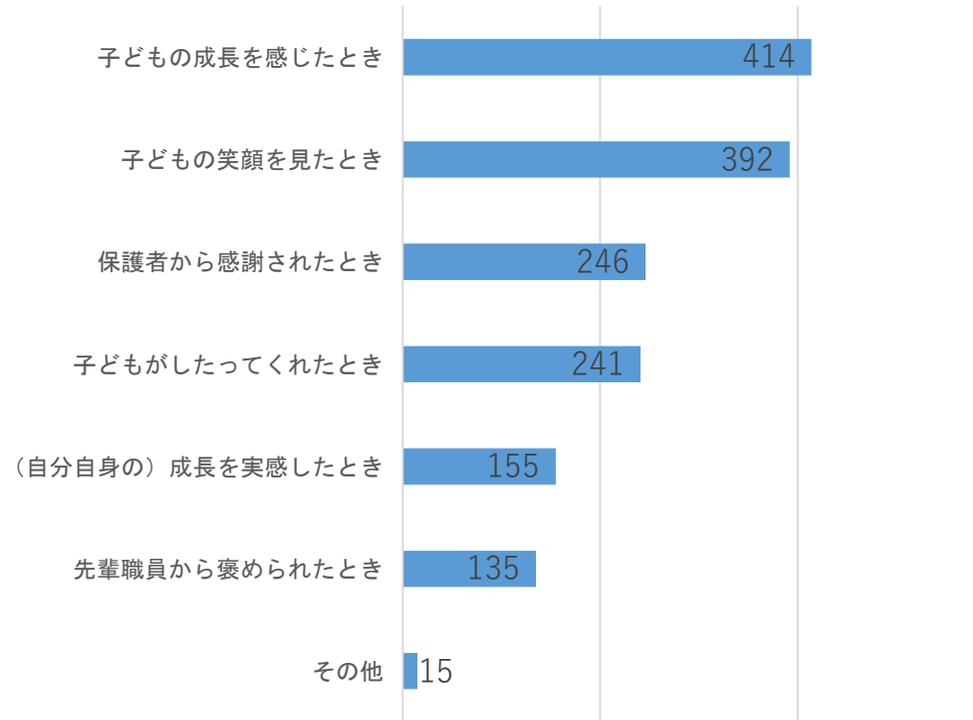
【16】【15】で「その他」を選択した場合、その内容を記入してください。

【主な内容】

- ・ 通勤距離が短い（28件）
- ・ 立地が良い（6件）
- ・ 出身園（3件）
- ・ 施設関係者（園長・保育士等）の人柄の良さ（3件）
- ・ 施設関係者（理事長・園長）からの勧誘（2件）
- ・ 家族経営の施設に就職
- ・ 結婚前に働いていて、馴染みがあったため
- ・ 引っ越ししてすぐに働きたかったため
- ・ 家族経営の施設でなかったため
- ・ 息子が通っていた保育園だったため
- ・ 自分の持っている資格を活かせると思ったから
- ・ 就職先を早く見つけたかったため
- ・ 知人が勤めていたため
- ・ 保育士資格がなかった状態で補助として働かせて頂けるとのことだったため

【17】あなたが現在働いていて、やりがいを感じる、励みになることを選択してください。（7個まで選択可能）

現在働いていて、やりがいを感じる、励みになることは「子どもの成長を感じたとき」が最も多く、次いで「子どもの笑顔を見たとき」、「保護者から感謝されたとき」、「子どもがしたってくれたとき」の順になっている。

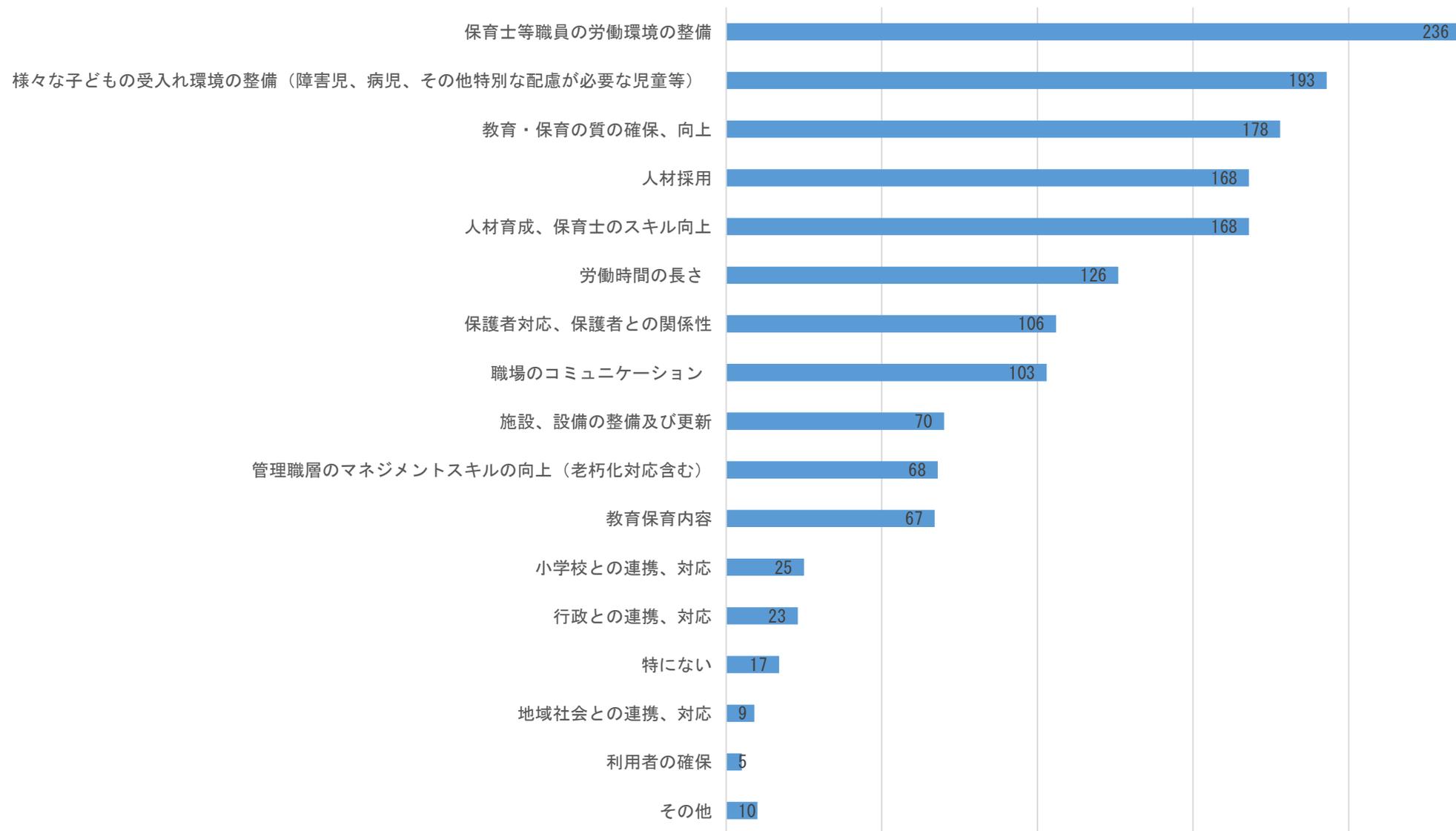


【18】【17】で「その他」を選択した場合、その内容を記入してください。

- ・ 特にない（5件）
- ・ 日々の業務（2件）
- ・ 職員間で仲良く仕事できたとき
- ・ 職員同士で助け合い、協力しながら行事等をやり遂げたときや、職員間で優しさや思いやりを感じたとき。
- ・ 保護者と子どもの成長の喜びを共有できたとき
- ・ 自分のことを理解してくれる職員がいること
- ・ お金のため
- ・ 同僚や上司と協力しながら仕事をするとき
- ・ 子どもたちと楽しさを共有できたとき
- ・ 業務が多く毎日バタバタしているためそのようなことを感じる余裕がない
- ・ 健康に良い

【19】教育・保育の提供上、課題と感ずる点を選択してください。（5個まで選択可能）

課題と感ずる点は、「保育士等職員の労働環境の整備」が最も多く、「様々な子どもの受入れ環境の整備（障害児、病児、その他特別な配慮が必要な児童等）」、「教育・保育の質の確保、向上」となっている。



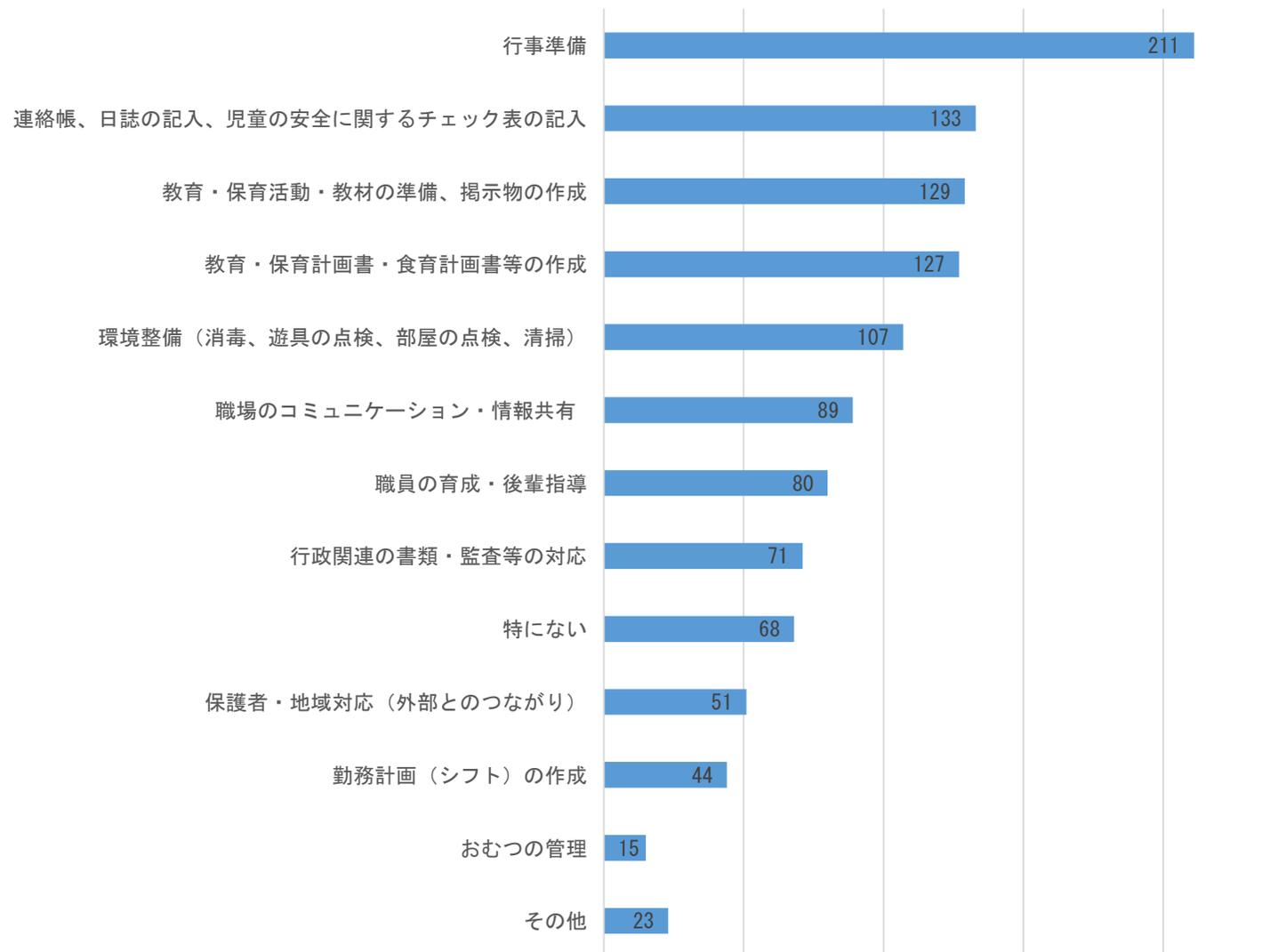
【20】【19】で「その他」を選択した場合、その内容を記入してください。

【主な内容】

- ・ 給与の低さ（2件）
- ・ 人間関係（2件）
- ・ シフト制の為、小さい子どもがいても固定時間での勤務や時短勤務をすることができないこと
- ・ 各年齢のクラスにおいて、保育士の配置基準が、保育士一人に対する子どもの数が多いのではと思う。今の配置基準では、子ども一人一人への丁寧な対応が出来づらいと感じる事が多い。国レベルで、この配置基準の改善を検討してもらえたらと思う。
- ・ 保育士不足により誰でも採用すること
- ・ 配慮が必要な子どもに関する認識や保育環境の整備
- ・ 基準保育士の人員確保

【21】負担が大きいと感じる間接業務について選択してください。（5個まで選択可能）

負担が大きいと感じる間接業務は、「行事準備」が最も多く、次いで「連絡帳、日誌の記入、児童の安全に関するチェック表の記入」、「教育・保育活動・教材の準備、掲示物の作成」、「教育・保育計画書・食育計画書等の作成」となっている。



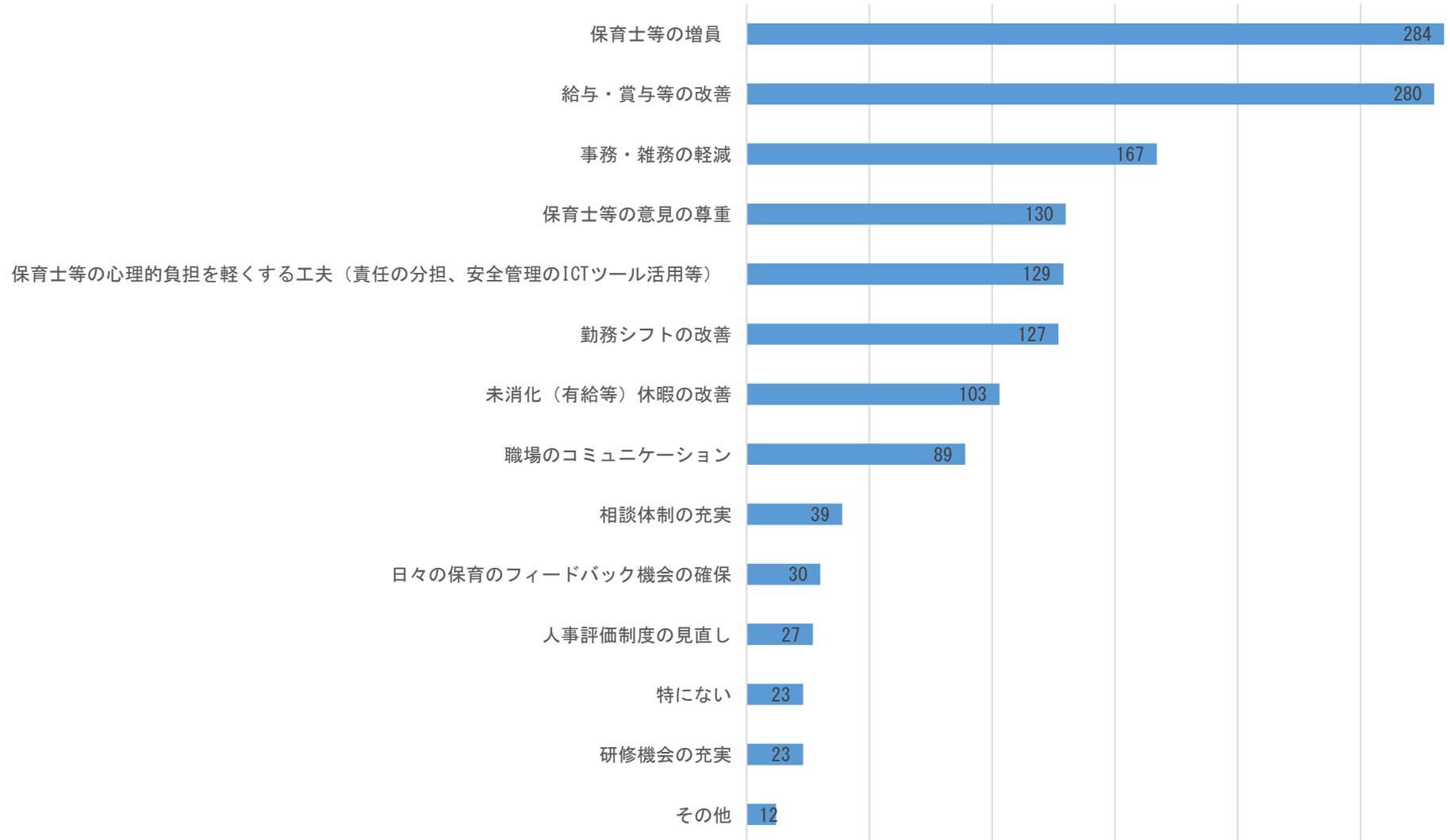
【22】【21】で「その他」を選択した場合、その内容を記入してください。

【主な内容】

- ・ 研修（3件）
- ・ 支援の必要な子どもへの対応（3件）
- ・ サービス残業（2件）
- ・ プール設営、畑仕事（2件）
- ・ 子どもの面倒を見ながら、消毒作業や事務作業や監査対応も行い、保育士に求める仕事が多すぎる
- ・ 保育中の掃除や洗濯
- ・ 勤務時間の長さ

【23】 普段勤務をする中で、あなた自身の働く環境が、今と比べてどう変わればより働きやすくなると思いますか。（5個まで選択可能）

普段勤務をする中で、あなた自身の働く環境が、今と比べてどう変わればより働きやすくなるかについては、「保育士等の増員」、「給与・賞与等の改善」の順に多く、次いで、「事務・雑務の軽減」となっている。

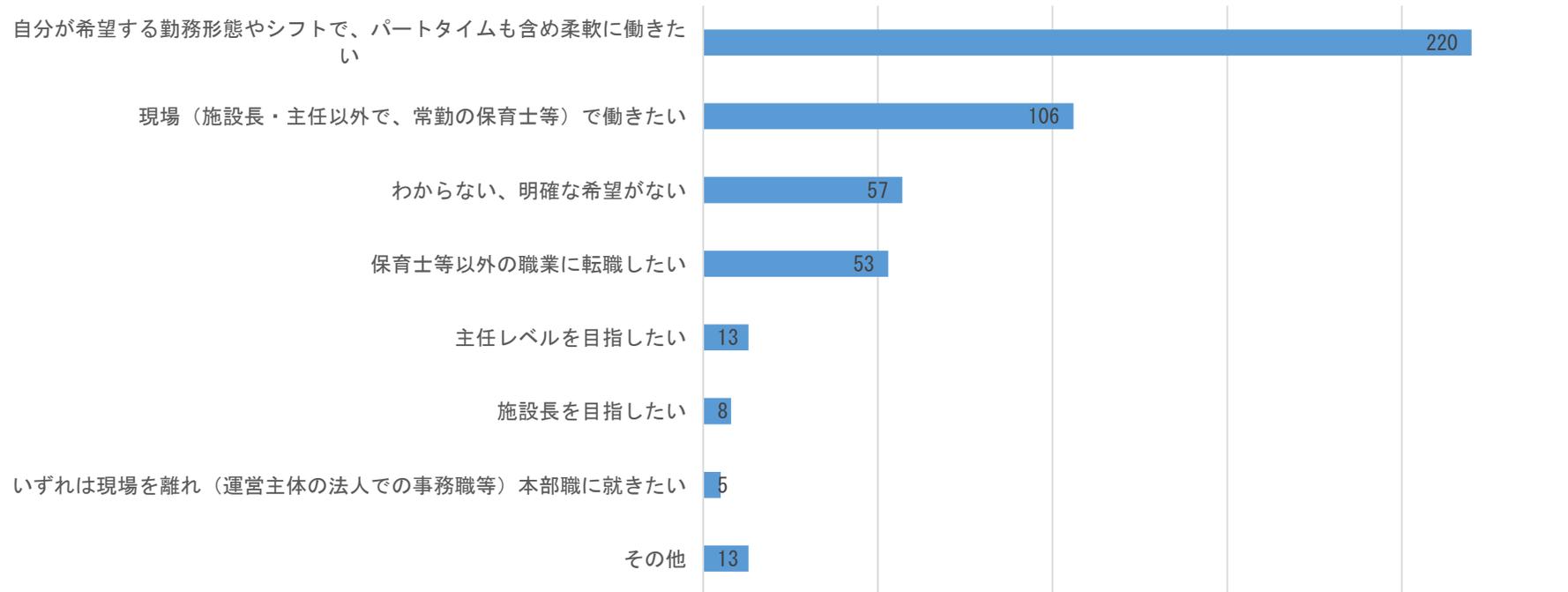


【24】【23】で「その他」を選択した場合、その内容を記入してください。

- ・ 上司への要望（2件）
- ・ 行政が補助制度を園へしっかりアナウンスすること
- ・ 個々の能力アップ
- ・ 給与の改善
- ・ 看護休暇の取得
- ・ 管理職側からの差別がなくなること
- ・ 上司の資質向上
- ・ 扶養内で働ける所得の範囲
- ・ 行事準備等の残業時間の多さ
- ・ 休憩時間
- ・ 子育てと仕事が両立できる体制
- ・ 休暇のとりやすさ
- ・ 職場での人間関係を相談できる環境の改善

【25】あなたは、将来的にどのような働き方をしたいですか。一番近いものをご回答ください。

将来的な働き方は、「自分が希望する勤務形態やシフトで、パートタイムも含め柔軟に働きたい」が最も多く、次いで、「現場（施設長・主任以外で、常勤の保育士等）で働きたい」となっている。



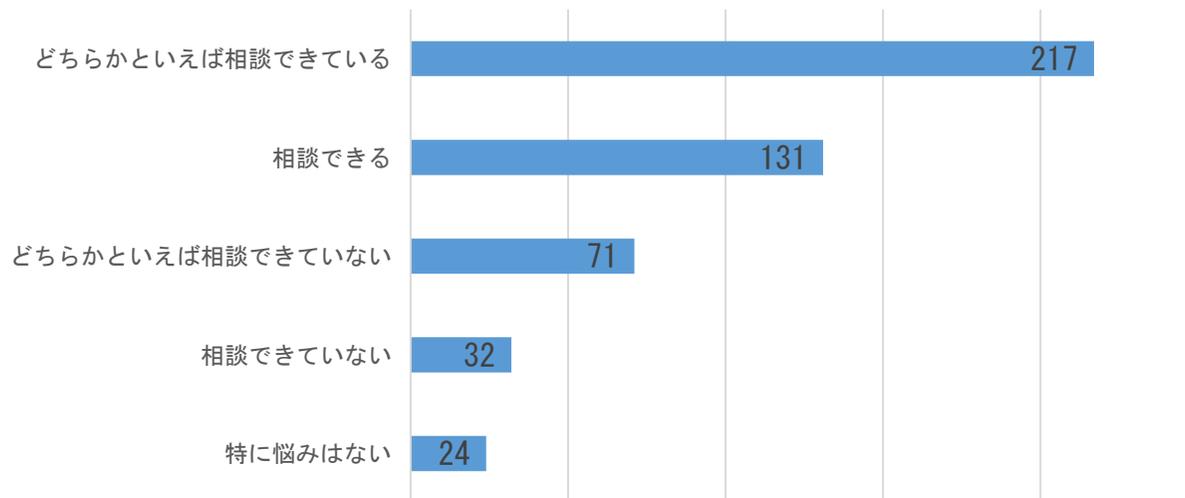
「その他」を選択した場合の内容

【主な内容】

- ・ 現状維持（5件）
- ・ 自分で施設を設立したい（2件）
- ・ 子どもを笑顔にできる居場所を作りたい
- ・ 結婚すれば柔軟に、独身のままであれば現場で働きたい

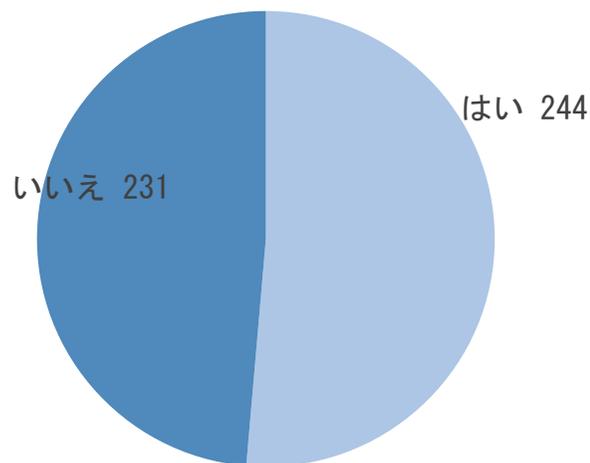
【26】あなたが現在働いている施設では、悩みごとについて相談できますか。

悩みごとについて、「どちらかといえば相談できている」、「相談できる」と回答した保育士等は、348人で73%が相談できている。



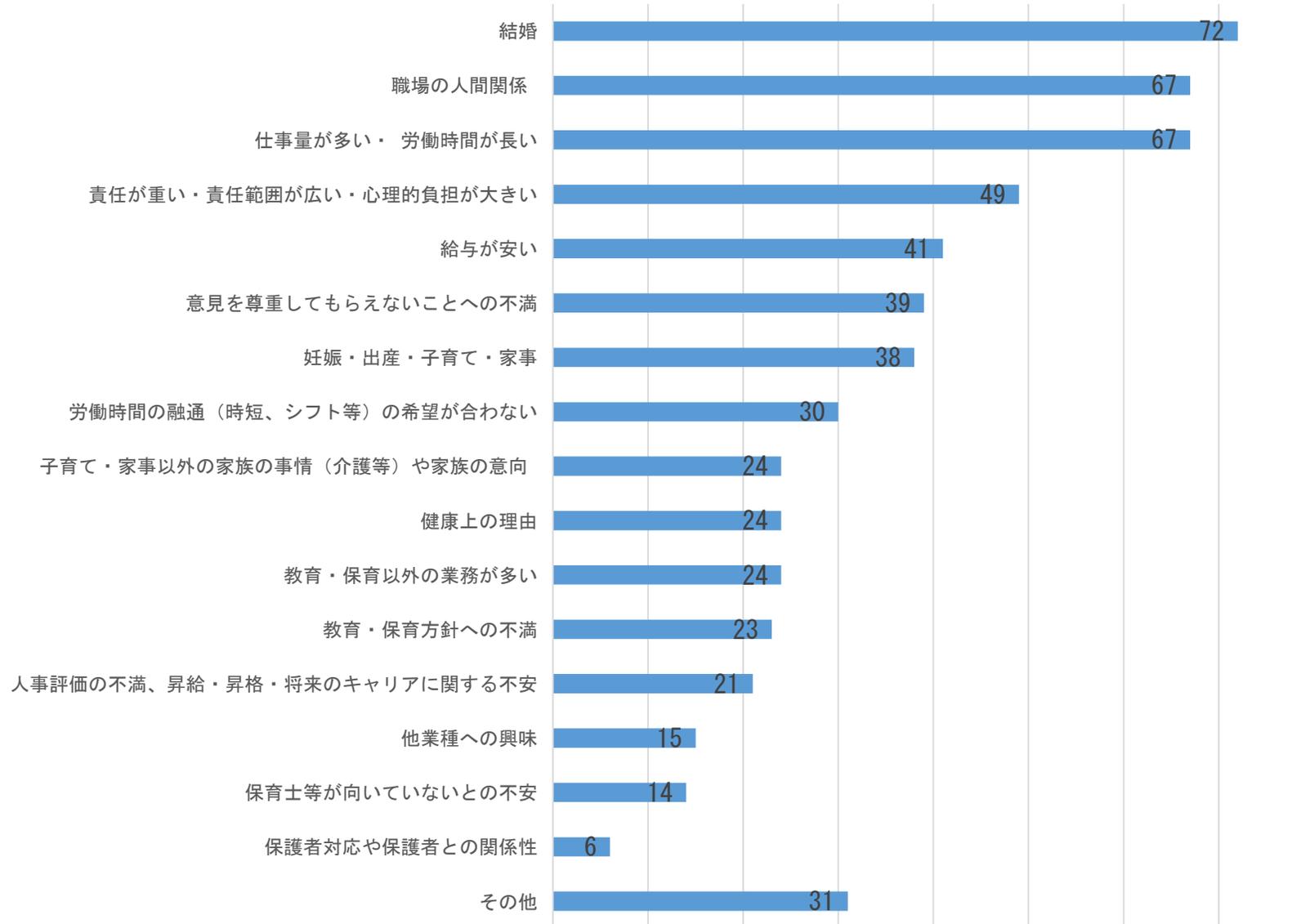
【27】以前に別の職場で保育士等として働いていたことはありますか。

回答のあった保育士等のうち、約半数が、以前に別の職場で保育士等として働いていたことがある。



【28】その職場を辞めた理由を選択してください（設問【27】で「○はい」を選択した方のみ）（17個まで選択可能）

職場を辞めた理由は、「結婚」が最も多く、次いで「職場の人間関係」と「仕事が多い・労働時間が長い」が同数で2番目に多くなっている。



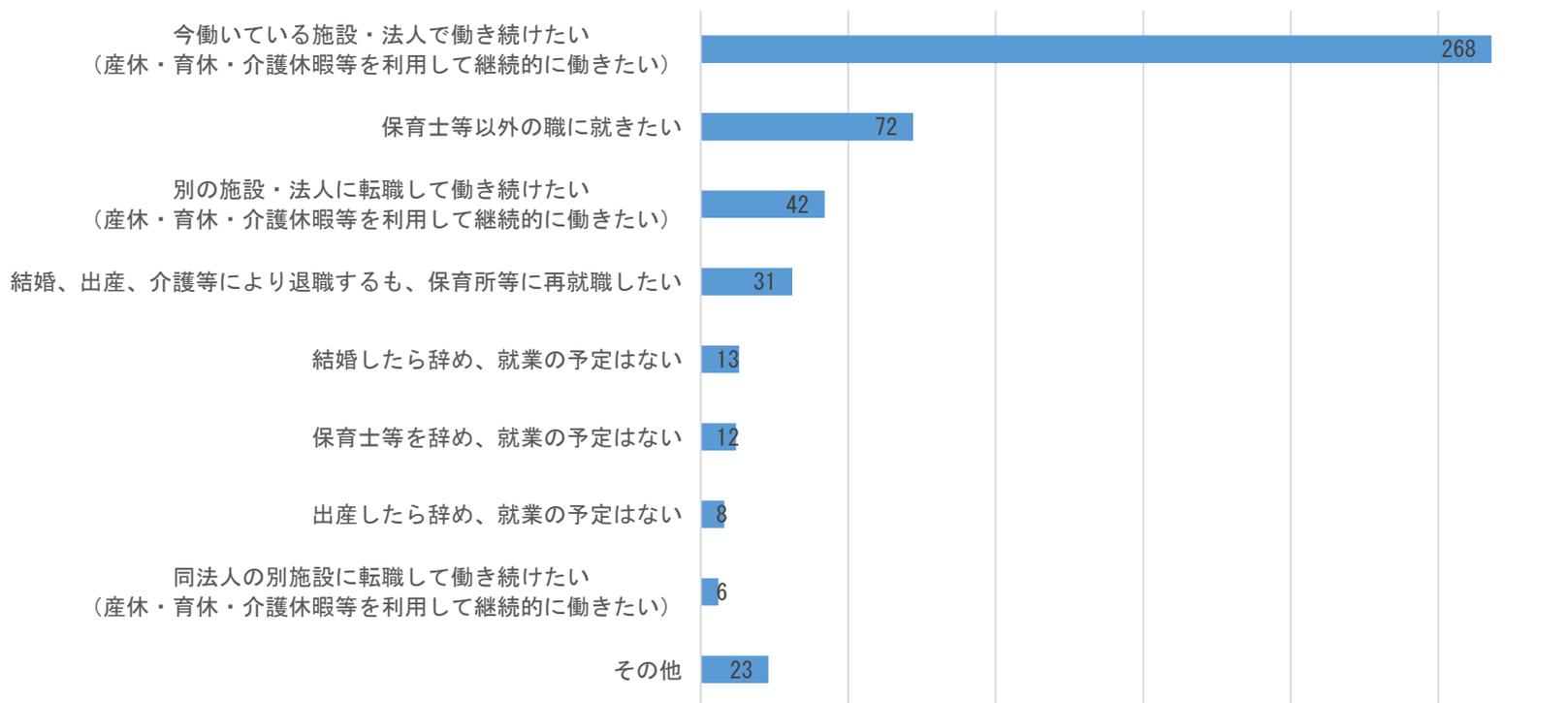
【29】【28】で「その他」を選択した場合、その内容を記入してください。

【主な内容】

- ・ 通勤距離が遠い（5件）
- ・ 配偶者の転勤（4件）
- ・ 引っ越し（3件）
- ・ パワハラ・セクハラ（3件）
- ・ 閉園（2件）
- ・ 勤務後に研修があった
- ・ 非正規での雇用だったため、正規で雇用してくれる施設へ転職
- ・ 精神的にきつかったため
- ・ 幼稚園で勤務していたが、認定こども園で勤務してみたいと思ったため

【30】あなたは今後も働きたいと思っていますか。

「今働いている施設・法人で働きたい」と答えた保育士等は、268人で73%となっている一方、約20%で72人の保育士等が「保育士等以外の職に就きたい」と考えている。



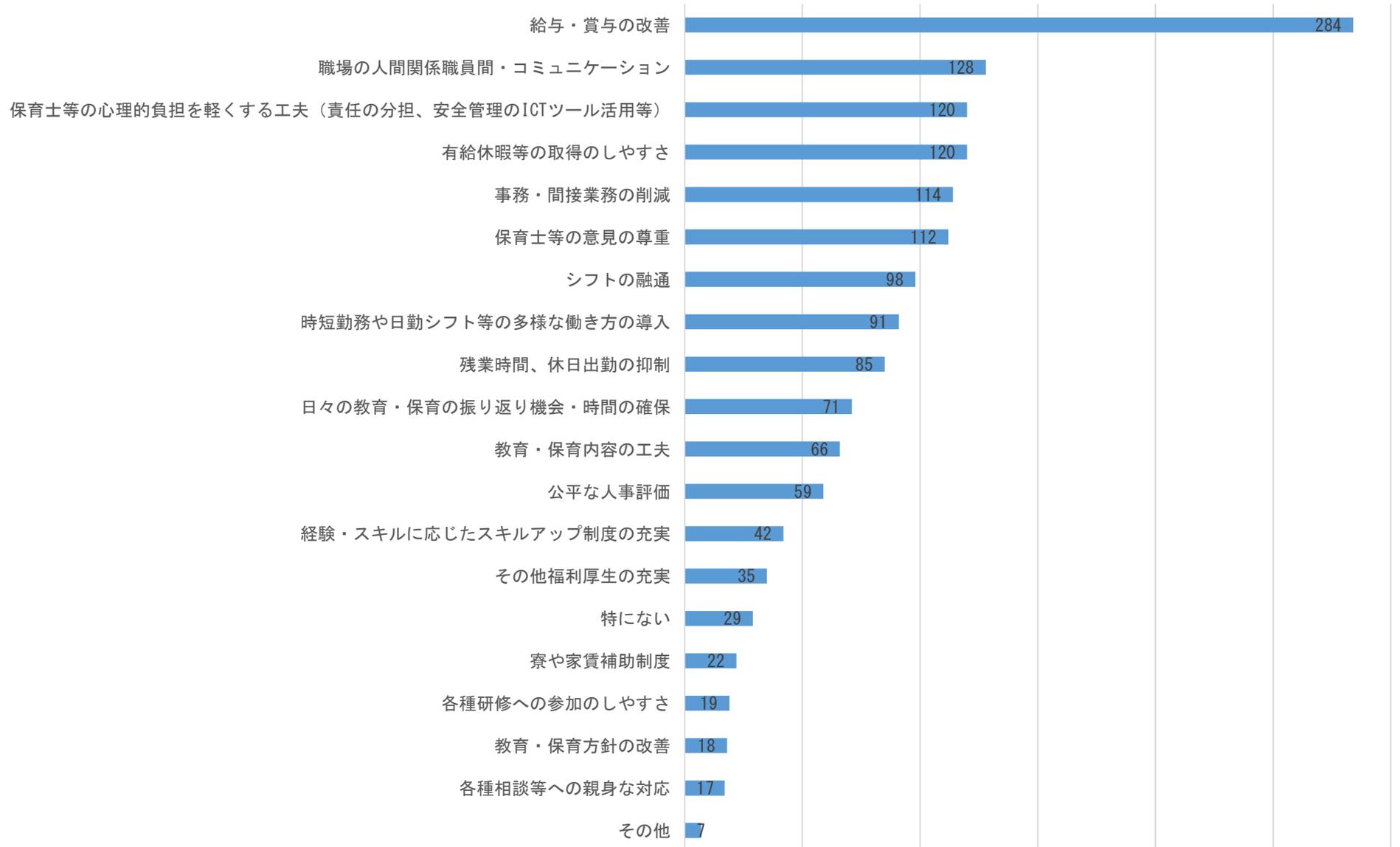
「その他」を選択した場合、その内容を記入してください。

【主な内容】

- ・ 未定 (4件)
- ・ 給与が改善されれば働きたい (2件)
- ・ より良い条件の就職先があれば転職したい
- ・ 結婚や出産をしたら今とは別の勤務形態で働きたい
- ・ 他の施設への転職を検討している (児童発達支援施設等)
- ・ 自宅で家庭的保育をしたい

【31】あなたが今後も保育士等として継続的に働いていくために、あなた自身の働く環境が今よりもどう変わればよりよいと思いますか。（5個まで選択可能）

保育士等として継続的に働いていくために、自身の働く環境が今よりもどう変わればよりよいかについては、「給与・賞与の改善」が最も多く81%を占めている。



【32】で「その他」を選択した場合、その内容を記入してください。

【主な内容】

- ・ 休憩時間の確保（2件）
- ・ 急な病気のとくに代わりの人を探してから休まないといけないこと
- ・ 130万円の壁（扶養の範囲内で働ける金額）を無くせばもっと働ける
- ・ 正規職員だけでなくパート職員も研修に参加できるようにする

【33】教育・保育現場の実態に関することや要望など、ご意見があれば記入してください。

【主な内容】

①給与の改善（54件）

- ・保育士不足と言われているが、労働に対しての給料が見合っていないのが大きいと思う。もう少し保育士に対しての優遇措置があれば頑張る意欲も出てくると思う。

②保育士不足（25件）

- ・働く保育士が少なく、子どもの安全危機管理が先に立ち、笑顔で保育しづらい。

③配置基準の見直しについて（24件）

- ・保育者1人が見るこどもの数を少なくしてほしい。さまざまな特性、家庭環境をもつこどもが増えている中、1人1人とじっくり向き合い、丁寧な教育・保育をするためにはもっと保育者の配置を増やしてほしい。

④適正保育（17件）

- ・仕事が休みでも預ける親が多すぎて、保育士も人員を確保しなければならない。出来るだけ家庭での保育を一律に強くお願いするべきだと思う。

⑤有給・休憩の改善（14件）

- ・休憩時間として含まれている1時間も休憩ではなく、日誌などの仕事に追われている。
- ・人員不足のため休みが無く、週に6日勤務することが度々あり、体力的に辛いです。

⑥配慮が必要な子どもへの対応（11件）

- ・子どもの状況が変わってきて、補助が必要な子がかなり増えてきている。規定の保育士人数での保育が困難な状況。

⑦人間関係の改善（8件）

- ・職場の人間関係が辛くても、相談できる人がいない。退職者が多く、辞めずに働いている職員の負担が大きい。

【主な内容】

⑧間接業務が多い（6件）

- ・ 正規の職員は保育以外の業務が多すぎて、その事ばかりが気になって、保育が手薄になっているような気がする。もっと丁寧にゆったりとした気持ちで保育に携われたらいいのと思う。
- ・ 保育士確保のためのSNS投稿やら就職見学会も現場職員。ブログ毎月発信保育以外の仕事が多く負担である。

⑨研修に関すること（4件）

- ・ 常勤も研修などを受けたい。
- ・ キャリアアップのために研修を勧められているが、研修が増えることで通常業務に影響が出て、負担が増えている。

⑩その他

- ・ 前から勤めている人たちへの奨学金制度を配慮していただけると更に保育士を務めるきっかけとなると思う。子どもを育てる職なのに保育士が子どもを育てたり、仕事を両立したりすることが難しいように感じる。
- ・ 現在の職場は、事務処理もある程度クラス担任が行わないといけない状況にある。保育以外の事に追われる事が多く、日誌・クラス便り・計画案・個人記録は持ち帰るのが当たり前の状況である。
- ・ 管理職に気に入られている人、そうではない人がおり、相談しにくい職員も多くいるので、職場以外の相談窓口があると良いと思う。